日本アジア投資株式会社

2023年3月期　第1四半期

決算補足資料

決算発表日:2022年8月12日

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

目次

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績(前年同期比較)	P4
3. 中期経営計画の進捗状況	P9
4. 業績予想	P18
5. 参考情報	P22

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

1. 総括

✓ 当四半期の実績（前年同期比較）

- 増収・赤字幅縮小
  営業収益 219百万円（+30.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益△262百万円（25百万円赤字幅縮小）
- 株式の売却益増加や、投資先企業に対する評価損の減少が寄与

✓ 中期経営計画の進捗状況

- 物流施設の屋根置き型Non-FIT太陽光発電所に投資決定
- 福島県いわき市のメガソーラー発電所が売電開始（7月）、出資持分を売却（8月）
- 埼玉県日高市の物流施設が竣工（4月）、施設の売却手続き完了（6月）
- 港区南青山の高齢者施設が竣工（5月）、施設の売却手続き完了（6月）
- 香川県高松市の障がい者グループホームが竣工、年内竣工予定含め10拠点まで増加
- 新規事業となるプロジェクトの開発が進捗

✓ 業績予想

- 通期の予想に変更なし、プロジェクトの売却は順調（第1四半期2件、第2四半期1件）
- 上期の予想は下方修正、株式やプロジェクト売却益の計上時期が第3四半期にずれ込む

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

2. 当四半期の実績（前年同期比較）

ハイライト　P5

営業収益・営業原価内訳　P8

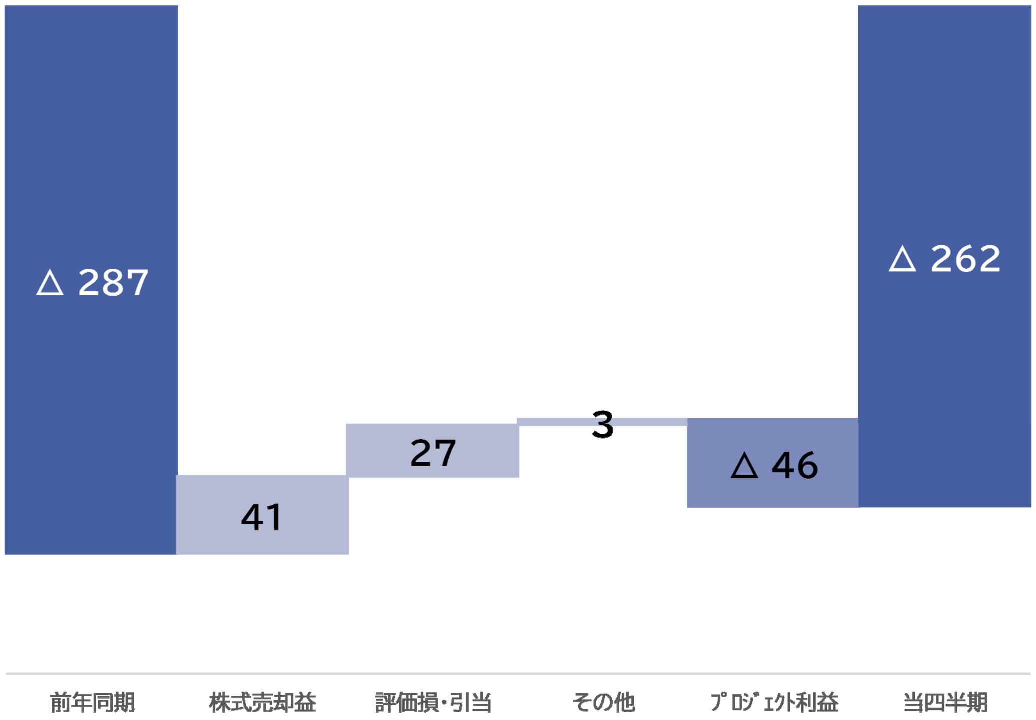
© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

2. 当四半期の実績ーハイライト P/L

JAIC

(単位:百万円)	2022/3期(1Q) 実績	2023/3期(1Q) 実績	
	金額	金額	増減率
営業収益	168	↗ 219	30.2%
営業原価	165	185	12.0%
営業総利益	3	34	929.7%
販管費	273	262	△4.0%
営業利益	△270	△227	-
経常利益	△286	△248	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△287	↗ △262	-

親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因



- ✓ 国内で上場株の売却が進み、営業収益が増加
- ✓ 中華圏の未上場株式の売却による利益が増加
- ✓ 評価損・引当の減少が利益に寄与
- ✓ プロジェクトからの先行コストは増加

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

2. 当四半期の実績－ハイライト B/S

JAIC

(単位:百万円)	2022/3期	2023/3期 1Q		
	金額	金額	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	14,972	14,294	△4.5%	
うち 現預金	2,740	↘ 2,217	△19.1%	返済△3、投融資△1、費用等△3、回収+2
うち プロジェクト投資(営業投資有価証券・貸付金)	6,781	6,801	0.3%	
うち 戦略投資(営業投資有価証券)	1,783	1,622	△9.0%	含み益△1
うち フィナンシャル投資(営業投資有価証券(引当後))	3,029	3,016	△0.4%	

借入金	5,943	↘ 5,633	△5.2%	返済△3
自己資本	7,779	7,515	△3.4%	損失△2

- ✓ 費用・利息の支払や借入金の返済により、現預金が減少
- ✓ 投資資産に大きな増減なし
- ✓ 将来の成長に向けた投資資金を確保した上で、借入金を適切な水準まで返済する方針

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

2. 当四半期の実績－ハイライト C/F

JAIC

(単位:百万円)	2022/3期 1Q	2023/3期 1Q
営業活動によるCF	△533	↗ △265
投資活動によるCF	△0	△0
財務活動によるCF	△507	↗ △309
CF増減額	△1,024	△561
期末残高	2,276	1,836

- ✓ 営業CF: 投資の回収が進捗し、支出額が縮小
- ✓ 財務CF:借入金の返済額が減少し、支出額が縮小

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

2. 当四半期の実績－営業収益・営業原価 内訳

JAIC

(単位:百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2022/3期 1Q	2022/3期 1Q	2022/3期 1Q	2022/3期 1Q	2022/3期 1Q	2022/3期 1Q
営業収益	168	219	150	↗ 207	18	↘ 12
管理運営報酬等	41	35	39	34	1	1
営業投資有価証券売却高	104	171	104	↗ 171	-	-
組合持分利益・ｲﾝｶﾑｹﾞｲﾝ等	9	1	3	0	6	1
その他営業収益	12	11	2	1	9	9
営業原価	165	185	145	124	20	60
営業投資有価証券売却原価	88	113	88	113	-	-
営業投資有価証券評価損・投資損失引当金繰入額	28	1	28	↘ 1	-	-
組合持分損失等	46	66	27	8	18	↗ 58
その他営業原価	2	3	1	0	1	2
営業総利益	3	34	5	↗ 82	△2	↘ △48

✓ プライベートエクイティ投資：増収・増益
- 営業収益（売却高）：国内の上場株式の売却高が増加
- 営業原価（評価損・引当金）：投資先企業の事業進捗の遅れによる評価損の計上が発生せず、損失額が減少

✓ プロジェクト投資：減収・減益
- 営業原価（組合持分損失等）：植物工場の増設部分や新規プロジェクトの立上げに伴い、先行コストが増加

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

3. 中期経営計画の進捗状況

JAIC

行動計画	P10
再生可能エネルギープロジェクト	P11
ディストリビューションセンタープロジェクト	P13
ヘルスケアプロジェクト（高齢者施設）	P14
ヘルスケアプロジェクト（障がい者グループホーム）	P15
新規事業（シェアアトリエ）	P17

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

3. 中期経営計画の進捗状況－行動計画

JAIC

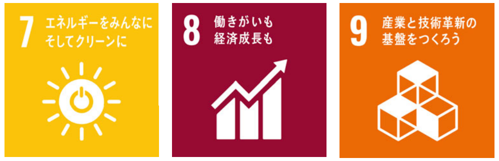
	計画期間（3年間）の行動計画	2年目（2022年4月以降）の進捗状況
再生可能 エネルギー	✓ ベトナムの屋根置きソーラー、国内のバイオガスへの投資を拡大 ✓ 国内メガソーラーは完成後に順次売却し売却益を計上	✓ 物流施設の屋根置き型Non-FIT太陽光発電所に投資決定 ✓ 福島県いわき市のメガソーラー発電所が売電開始（7月）、出資持分を売却（8月）
ディストリビューションセンター （物流施設）	✓ 重点分野として投資残高を増加 ✓ プロジェクトの初期段階に投資 ミドル・リスク＆リターン志向のレイターステージの投資家を呼び込み採算性を向上	埼玉県日高市のプロジェクトが竣工（4月）、売却手続きが完了（6月）（収益の計上は第3四半期の見込）
ヘルスケア （高齢者施設）	案件を厳選して投資を実行	港区南青山のプロジェクトが竣工（5月）、売却手続きが完了（6月）（収益の計上は第3四半期の見込）
ヘルスケア （障がい者グループホーム）	大手銀行、リース会社とのファンド組成により50棟に投資を実行	✓ 香川県高松市のプロジェクトが竣工 ✓ 地域金融機関との連携で開発が進捗
新規事業	既存投資テーマの周辺分野、及びコロナ禍に対応した事業テーマから将来の収益の柱となる新規事業を開発	✓ ぴあ㈱を通じてエンタテインメントコンテンツ“Naked Flowers For You“ へ投資実行 ✓ シェアアトリエプロジェクトへ投資決定（7月）

- ✓ 再生可能エネルギー、ディストリビューションセンター、ヘルスケアのプロジェクトで事業が進捗
- ✓ 新規事業として多様なプロジェクトへの投資を展開

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

3. 中期経営計画の進捗状況－再生可能エネルギー

物流施設の屋上を活用したNon-FITの複合型電力供給システムに投資決定



KIC Holdings Inc.

戦略投資先
KICホールディングス㈱

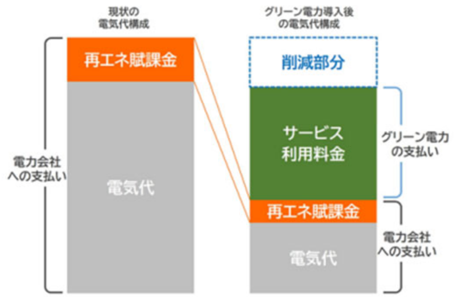
SMART SOLAR

戦略投資先
スマートソーラー㈱

1 環境への配慮：SDGs経営に対応。

例：あきる野DCに180kWの発電設備を設置する場合のCO_2排出削減量

2 施設内消費による経済性：
従来の電力より
安い電力で経営の安定化。



3 BCP対策：
停電時にも大容量蓄電池で一定電力を確保し、
テナント様の事業継続性を強化。

- ✓ 当社の戦略投資先であるKICホールディングスが開発した物流施設に、同じく戦略投資先であるスマートソーラーが開発したNon-FIT型の太陽光発電システムを設置
- ✓ 屋上に設置する太陽光パネルと、蓄電池、商用電源を複合的・効率的に運用
- ✓ 施設の利用電力の60％を太陽光で賄う、低環境負荷型の物流施設
- ✓ 施設の利用者は発電したクリーン電力を安価に消費可能、また、停電時には自立した非常用電源としても機能
- ✓ 当社の戦略投資先企業同士の協業が成功した事例

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

福島県いわき市のメガソーラー発電所が売電開始（2022年7月）

所在地	福島県いわき市
太陽電池パネル設置容量	約2.４ MW
年間予想発電量	約2,950 MWh（一般家庭約620世帯分※）
売電開始	2022年7月
売却	2022年8月

※ 太陽光発電協会 表示ガイドライン（2022年度）に基づき4,743kWh/年にて換算

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

3. 中期経営計画の進捗状況ーﾃﾞｨｽﾄﾘﾋﾞｭｰｼｮﾝｾﾝﾀｰの竣工

JAIC

8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう

KIC狭山日高ディストリビューションセンターが竣工（2022年4月）

KIC Holdings Inc.

戦略投資先
KICホールディングス㈱

所在地	埼玉県日高市
アクセス	圏央自動車道「狭山日高IC」より約0.5 km、西武新宿線「狭山市駅」より約4.8 km、国道16号線、関越自動車道へもアクセス良好
物件概要	延床面積約15,113 m²、地上4階建
初回投資実行	2021年1月
竣工	2022年4月
売却	2022年6月

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

3. 中期経営計画の進捗状況－ヘルスケアー高齢者施設の竣工

JAIC

パートナー企業:
AIPヘルスケア
ジャパン合同会社

施設名	プレザンリュクス南青山
最寄り駅	東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線「表参道」駅　徒歩15分 東京メトロ日比谷線「広尾」駅　徒歩17分 渋谷駅前より都営バスにて7分「南青山7丁目」バス停　徒歩6分
物件概要	敷地面積:1,691.52㎡ 構造:鉄筋コンクリート造　地上5階建 1-5階　介護付有料老人ホーム(定員61名)
投資実行	2021年1月
竣工	2022年5月
売却	2022年6月

港区南青山の高齢者施設が竣工(2022年5月)

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

11 住み続けられるまちづくりを

social inclu

ソーシャルインクルーホーム高松香川町が竣工（2022年5月）

戦略投資先
ソーシャルインクルー㈱

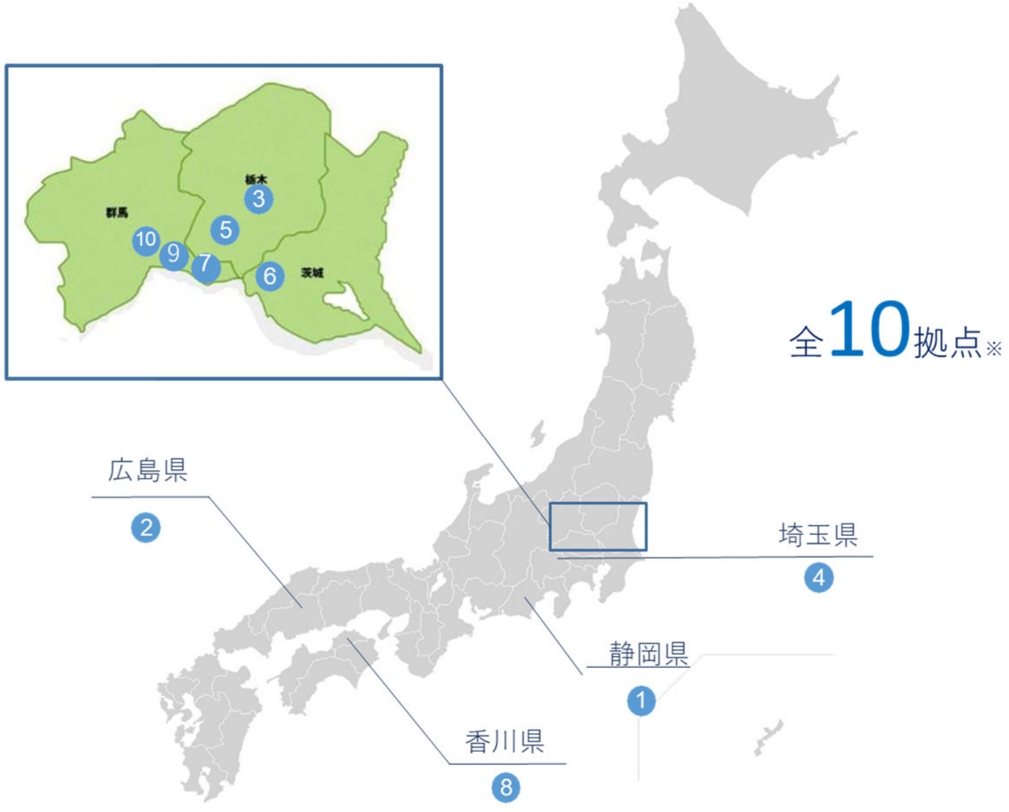
所在地	香川県高松市香川町
竣工	2022年5月
部屋数	入居者用20部屋 短期入所用2部屋
種類	日中サービス支援型
運営者	ソーシャルインクルー㈱

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

11 住み続けられるまちづくりを

social inclu

地域金融機関との連携強化により事業が拡大



グループホーム拠点

1. 静岡浜松市
2. 広島広島市
3. 栃木宇都宮市
4. 埼玉加須市
5. 栃木佐野市
6. 茨城古河市
7. 群馬館林市
8. 香川香川町
9. 群馬太田市※
10. 群馬桐生市※

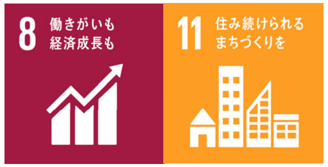
※⑨、⑩は2022年内竣工予定

- ✓ 地域金融機関との連携強化により開発スピードが加速・対象地域が拡大
- ✓ 2022年内に竣工予定のものを含め、全10拠点まで増加
- ✓ グループホームの運営は、戦略投資先企業であるソーシャルインクルー㈱が担う
- ✓ プロジェクトの規模拡大により、同社の成長を支援する投資戦略

 © Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

JAIC

神奈川県藤沢市のシェアアトリエ施設へ投資決定（2022年7月）



ENJOYWORKS

パートナー企業：
㈱エンジョイワークス

写真：エンジョイワークスが神奈川県逗子市桜山の廃工場をリノベーションした「桜山シェアアトリエ」

- ✓ 神奈川県藤沢市の工場跡をシェアファクトリー・シェアアトリエ等へと改装・再生し、クリエイターやアーティストが活動できる施設として再生するプロジェクトへ投資を決定
- ✓ パートナー企業のエンジョイワークスは、創業以来15年に亘り、地域の住民や事業者、地域金融機関や自治体と連携して、特徴のある様々な不動産開発・再生プロジェクトで実績
- ✓ クラウドファンディングの共感投資ファンド「ハロー！RENOVATION」を活用することで、多様な関係人口から出資を募り、物件の利活用に必要な資金を調達

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

4. 業績予想

2023年3月期の事業方針 P19

業績見込値の詳細 P20

将来に関する記述等についてのご注意 P21

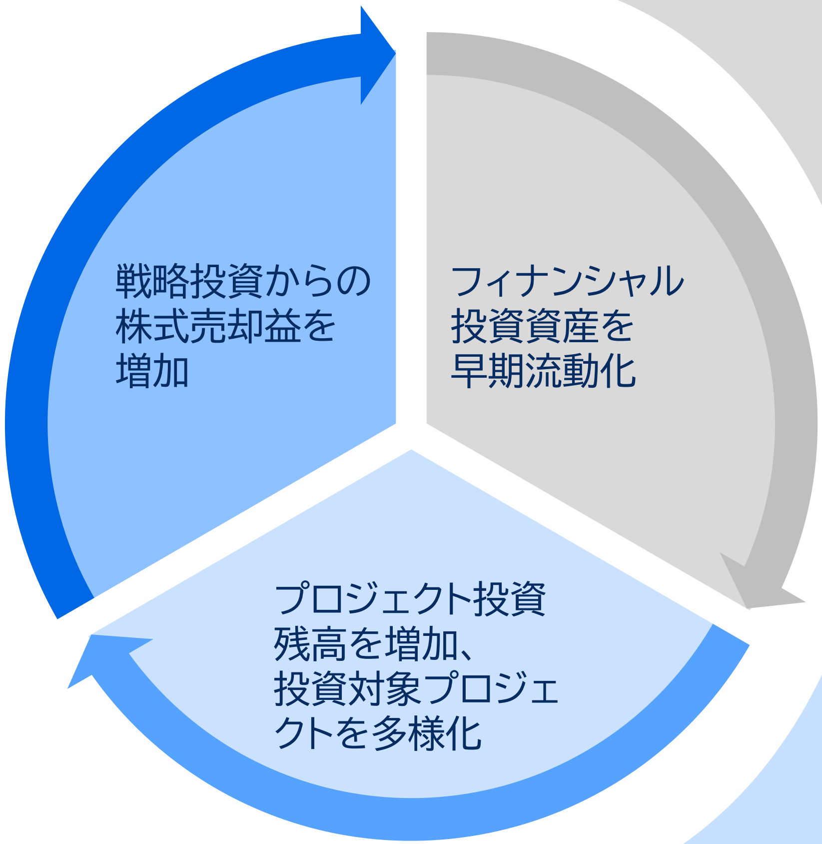
© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

4. 業績予想－2023年3月期の事業方針

JAIC

事業方針

- ✓ 既存のプライベートエクイティ（PE）投資（フィナンシャル投資）資産を売却し、利益･資金を確保する
- ✓ 新たな投資方針に基づき、プロジェクト投資の残高を増加させる
- ✓ プロジェクト投資での協業を通じたハンズオン型の投資スタイルを確立し、戦略投資からの株式売却益を増加させる



基本方針

･PE投資（フィナンシャル投資）残高を自己資本の範囲に収める

･戦略投資先のハンズオン支援により株式売却益を増加させる

重点施策

- 満期の到来したファンドを早期に清算し、フィナンシャル投資資産を流動化する
- フィナンシャル投資の新規投資は、原則として、パートナーと連携してファンドを組成し、ファンドから投資を行う
- ハンズオン支援を行い、戦略投資先のIPOを早期に実現する

基本方針

･プロジェクト投資の残高を増加させる

･投資対象プロジェクトを多様し、戦略投資を行う

重点施策

- メガソーラーの次なる収益の柱として、物流施設、障がい者グループホームへの投資を加速する
- 既存物流施設の売却を実現する
- 植物工場の早期黒字化を目指す
- 新たなプロジェクト投資分野を開拓し、そのパートナー企業に戦略投資を行う

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

4. 業績予想－業績見込値の詳細

単位:百万円	2023/3期 1Q 実績	上期見込（2022年5月発表）	上期 修正見込（2022年8月修正）		通期見込（2022年5月発表）	
	金額	金額	金額	変動率	金額	1Q実績進捗率
営業収益	219	1,950	1,330	△31.8%	3,000	7.3%
営業原価	185	600	740	23.3%	1,050	17.7%
営業総利益	34	1,350	590	△56.3%	1,950	1.8%
販管費	262	570	540	△5.3%	1,200	21.9%
営業利益	△227	780	50	△93.6%	750	-
経常利益	△248	730	0	△100.0%	650	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△262	600	△10	-	550	-

- ✓ 通期見込に変更なし、主に国内の株式売却益とプロジェクトの売却により、計画を達成する方針
- ✓ 上期の見込は下方修正、株式・プロジェクトの売却益の計上時期が第2四半期から第3四半期にずれ込む
- ✓ プロジェクトの売却は順調に進捗、第1四半期に2件の売却手続きが完了、収益計上は第3四半期の見込み
- ✓ 第1四半期の実績は下振れ、見込外の特別損失・株式売却の下振れ・プロジェクトのコスト増加が発生
- ✓ 一方で、第2四半期に期初見込外のメガソーラープロジェクト1件を売却、第1四半期の下振れを補う見込み

4. 業績予想－将来に関する記述等についてのご注意

JAIC

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。

- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

5. 参考情報

再生可能エネルギープロジェクト一覧	P23
プロジェクト投資　案件一覧	P24
戦略投資先企業一覧	P27
アジアネットワーク	P28
主要データの推移	P29
営業収益・営業原価　内訳	P31
投資領域	P32
JAICの強み	P33
収益構造	P34
SDGsへの取り組み	P36
会社概要	P37

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

再生可能エネルギープロジェクト一覧（2022年6月末）

JAIC

メガソーラープロジェクト

売電中　9件（11発電所）　22.2MW

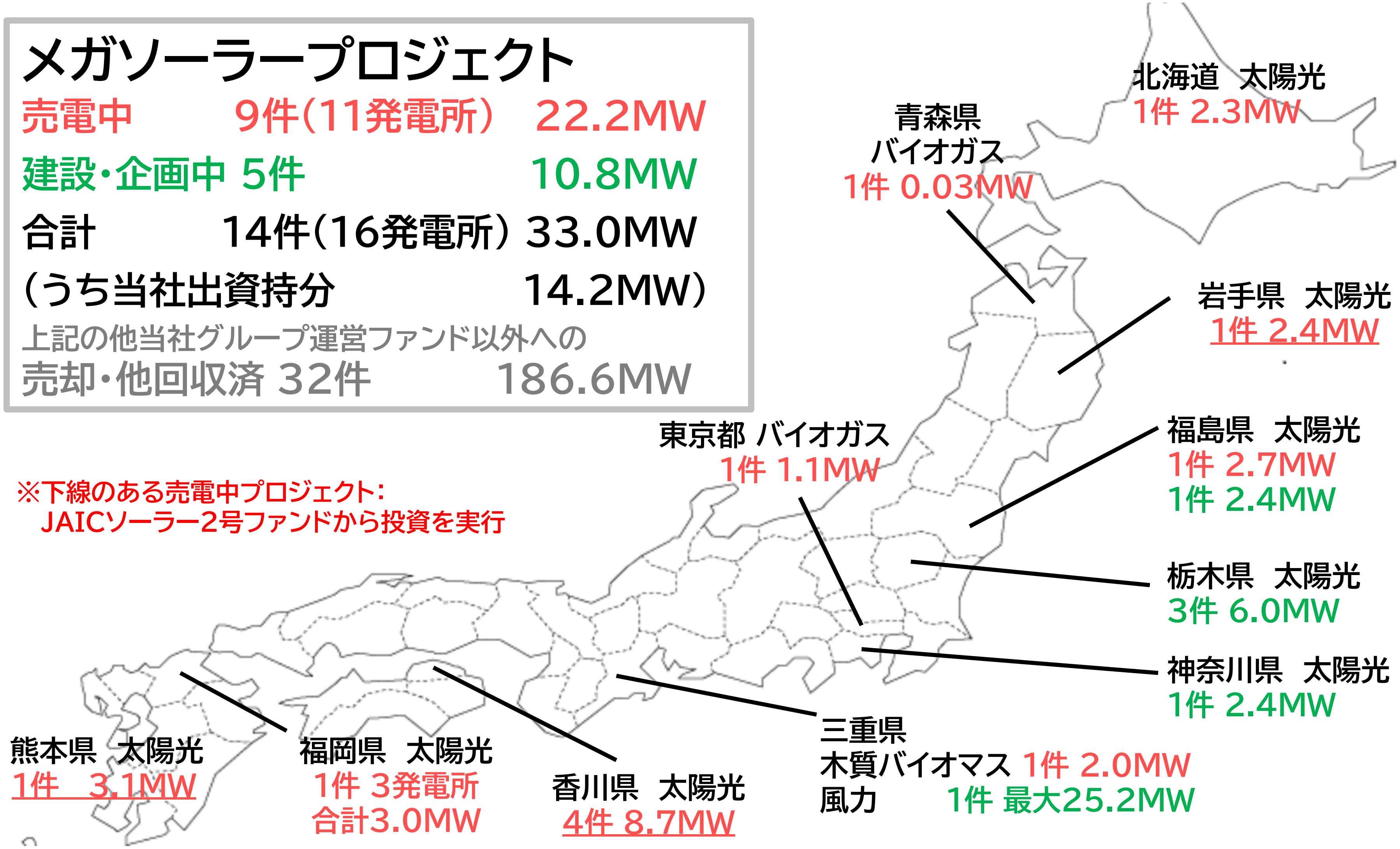
建設・企画中 5件　10.8MW

合計　14件（16発電所）33.0MW

（うち当社出資持分　14.2MW）

上記の他当社グループ運営ファンド以外への
売却・他回収済 32件　186.6MW

※下線のある売電中プロジェクト：
JAICソーラー2号ファンドから投資を実行



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

プロジェクト投資　案件一覧-1（2022年6月末）

JAIC

プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量（MW）	プロジェクト進捗状況	FIT（税抜、円）
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町（※）	3.1	売電中（2015年12月売電開始）	40
	2	野間池ソーラー発電所（※）	2.4	売電中（2017年5月売電開始）	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所（※）	1.5	売電中（2017年9月売電開始）	32
	4	岩手一関ソーラーパーク（※）	2.4	売電中（2018年1月売電開始）	36
	5	中王田池ソーラー発電所（※）	2.4	売電中（2018年4月売電開始）	36
	6	東王田池ソーラー発電所（※）	2.4	売電中（2018年7月売電開始）	36
	7	福島県いわき市	2.4	建設中（2022年7月売電開始）	32
	8	広野ソーラーパーク	2.7	売電中（2020年2月売電開始）	40
	9	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中（2020年5月売電開始）	40
	10	神奈川県	2.4	企画中	32
	11	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中（2020年3月～5月売電開始）	36
	12	栃木県	2.0	企画中	36
	13	栃木県	2.0	企画中	32
	14	栃木県	2.0	企画中	32
合計 33.0 MW（うち当社出資持分 14.2 MW）					

※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

プロジェクト投資　案件一覧-2（2022年6月末）

プロジェクト種類		所在地	発電容量（MW）	プロジェクト進捗状況	FIT（税抜、円）
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中（2018年1月売電開始）	－
バイオガス発電	1	東京都羽村市	1.1	売電中（2021年3月売電開始）	39
	2			バイオガスを生成する食品リサイクル会社（バイオガス発電所オペレーター）	－
	3	青森県上北郡東北町	0.03	売電中（2018年11月売電開始）	39
風力発電		三重県	最大25.2	企画中	22

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量　合計約470t	1号工場　2019年3月稼働 2号工場　2022年8月本格稼働
物流施設	1	神奈川県厚木市	延床面積 10,890㎡（予定）、地上2階建	建設・企画中
	2	神奈川県海老名市	未定	建設・企画中
	3	東京都あきる野市	延床面積 25,804㎡（予定）、地上4階建	建設・企画中
	4	非公開	非公開	建設・企画中
	5	非公開	非公開	建設・企画中
商業ビル		愛知県	敷地面積 1,752m²、地下1階地上6階建	営業中（既存ビルへの投資）

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

プロジェクト投資　案件一覧-3（2022年6月末）

JAIC

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
高齢者向け施設	1	東京都江東区東雲	8階建複合施設　定員100名	建設・企画中
障がい者グループホーム	1	静岡県浜松市	入居者用20部屋、短期入所用2部屋	営業中（2020年8月営業開始）
	2	栃木県宇都宮市	同上	営業中（2021年9月営業開始）
	3	広島県広島市	同上	営業中（2020年8月営業開始）
	4	埼玉県加須市	同上	2022年2月完成
	5	茨城県古河市	同上	2022年3月完成
	6	群馬県館林市	同上	2022年3月完成
	7	埼玉県川越市	同上	建設・企画中
	8	栃木県佐野市	同上	2022年3月完成
	9	群馬県太田市	同上	建設・企画中（2022年中完成予定）
	10	香川県高松市	同上	2022年5月完成
	11	群馬県桐生市	同上	建設・企画中（2022年中完成予定）
	12	福島県いわき市	同上	建設・企画中
コンテンツ	1	Naked Flowers For You	―	2022年3月より有楽町マルイ8階で開催中

その他2件のプロジェクト投資あり。

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

戦略投資先企業一覧

JAIC

リニューアブル・ジャパン株式会社

メガソーラープロジェクトの
パートナー企業

初回投資時期　：2015年

2021年12月22日　東証ﾏｻﾞｰｽﾞ上場

スマートソーラー株式会社

メガソーラープロジェクトの
パートナー企業

初回投資時期：2017年

ソーシャルインクルー株式会社

障がい者グループホームプロジェクト
のパートナー企業

初回投資時期　：2019年

株式会社森久エンジニアリング
株式会社モーベルファーム
（㈱森久エンジニアリング子会社）

スマートアグリ（野菜）プロジェクトの
パートナー企業

初回投資時期：2019年

MD-Farm株式会社

スマートアグリ（イチゴ）プロジェクトの
パートナー企業

初回投資時期：2019年

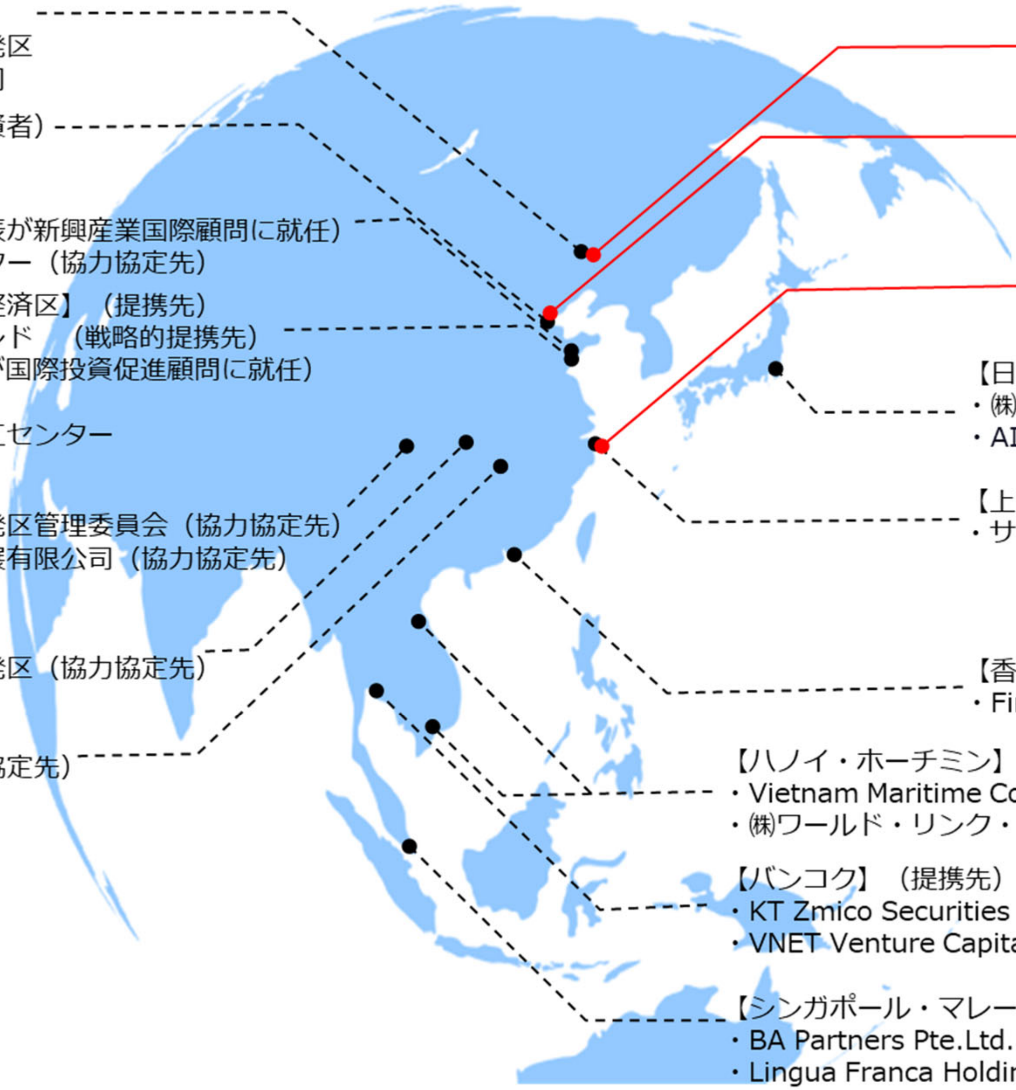
KICホールディングス株式会社

ディストリビューションセンター
（物流施設）投資のパートナー企業

初回投資時期：2020年

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

アジアネットワーク



【瀋陽】（100%子会社）
【天津】（100%子会社）
【上海】（100%子会社）

【瀋陽】（ファンド出資者）
・瀋陽市渾南新区市政府
（協力協定先）
・瀋陽高新技術産業開発区
・瀋陽万科企業有限公司

【天津】（ファンド出資者）
・天津エコシティ

【煙台】（提携先）
・煙台市政府（当社代表が新興産業国際顧問に就任）
・煙台市投資促進センター（協力協定先）

【青島・山東半島藍色経済区】（提携先）
・藍色経済区産業ファンド　（戦略的提携先）
・青島市政府　（当社が国際投資促進顧問に就任）
【青島】（協力先）
・中国青島（日本）商工センター

【成都】（提携先）
・成都高新技術産業開発区管理委員会（協力協定先）
・上海利畅文化科技発展有限公司（協力協定先）

【西安】（提携先）
・西安高新技術産業開発区（協力協定先）

【武漢】（提携先）
・武漢市商務局（協力協定先）

【日本】（提携先）
・㈱アジアンマーケット企画
・AIS CAPITAL㈱

【上海】（ファンドの共同運営）
・サイバーエージェント・キャピタル

【香港】（株主・提携先）
・First Eastern Investment Group

【ハノイ・ホーチミン】
・Vietnam Maritime Commercial Joint Stock Bank（提携先）
・㈱ワールド・リンク・ジャパン（協力先）

【バンコク】（提携先）
・KT Zmico Securities Company Limited
・VNET Venture Capital Management Securities Co.,Ltd.

【シンガポール・マレーシア・インドネシア】協力先
・BA Partners Pte.Ltd.（当社OB運営会社）
・Lingua Franca Holdings Pte.Ltd.（当社OB運営会社）

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

主要データの推移 ①

・ファンドの状況、投資の状況

(単位:百万円)	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	22/3(1Q)	23/3(1Q)
ファンド設立・増加額	1,000	2,000	1,359	151	1,001	1,001	-
ファンド運用残高 ※1	19,150	16,494	17,390	16,450	16,463	17,020	16,952
うち 当社グループ出資額 ※1	5,867	5,344	5,163	5,434	4,953	5,470	5,113
投資/融資実行額 総額 ※2	3,887	3,749	3,374	1,767	3,420	862	93
投資/融資残高 総額 ※2	13,981	13,951	15,101	12,855	13,784	13,522	13,128
投資/融資実行額 プロジェクト投資※2	2,681	3,612	2,150	1,445	1,938	142	81
投資/融資残高 プロジェクト投資※2	3,582	5,514	6,696	6,088	6,344	6,208	5,879
投資/融資実行額 プライベートエクイティ投資※2	1,205	136	1,224	322	1,482	720	11
投資/融資残高 プライベートエクイティ投資※2	10,398	8,437	8,405	6,767	7,440	7,313	7,248

※1　投資資産を保有した状態で清算期間に入るファンドが増加したため、2021年3月期より、清算期間中のファンドを含めています。
※2　当社グループによるプロジェクトに対する融資実行が増加したため、2021年3月期より、プロジェクトに対する融資（破産更生債権等を除く）を含めています。

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

主要データの推移 ②

・業績、財務状況

（単位：百万円）	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	22/3(1Q)	23/3(1Q)
業績							
営業収益	5,403	2,475	2,760	3,089	2,409	168	219
営業総利益	2,328	1,286	1,359	1,301	1,276	3	34
販売費及び一般管理費	1,311	1,109	1,094	1,086	1,189	273	262
営業利益	1,017	177	265	214	86	△270	△227
経常利益	954	83	140	173	61	△286	△248
親会社株主に帰属する当期純利益	874	578	302	144	49	△287	△262
財務状況							
現預金	7,308	5,564	3,920	3,699	2,740	2,781	2,217
営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	3,582	5,514	5,437	5,583	6,781	5,646	6,801
営業投資有価証券（戦略投資投資）	373	373	1,005	1,155	1,783	1,355	1,622
引当後　営業投資有価証券（フィナンシャル投資）	5,657	4,765	4,282	3,111	3,029	3,047	3,016
借入金	11,954	9,784	8,166	6,950	5,943	6,442	5,633
自己資本	6,545	6,840	7,223	7,338	7,779	6,998	7,515
総資産	19,220	17,305	15,800	14,657	14,972	13,900	14,294

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

営業収益･営業原価　内訳

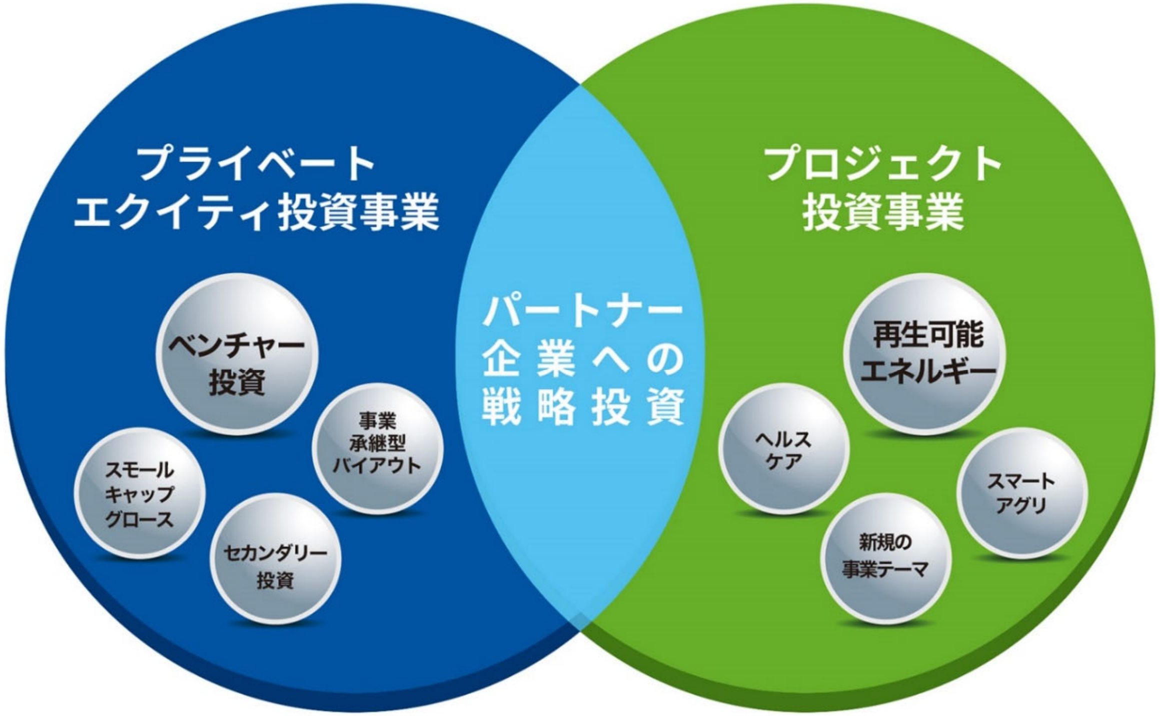
JAIC

（単位：百万円）		18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	22/3(1Q)	23/3(1Q)	増減率(%)
1.	**投資事業組合等管理業務**								
	管理運営報酬等	277	241	199	169	154	41	35	△13.1%
	成功報酬	86	-	-	-	-	-	-	-
	営業収益	364	241	199	169	154	41	35	△13.1%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	364	241	199	169	154	41	35	△13.1%
2.	**投資業務**								
	営業投資有価証券売却高	3,219	1,746	2,349	2,221	1,573	104	171	63.3%
	組合持分利益･インカムゲイン等	1,677	429	172	648	631	9	1	△83.5%
	営業収益	4,897	2,176	2,521	2,870	2,204	114	172	50.9%
	営業投資有価証券売却原価	2,469	554	965	1,249	810	88	113	29.3%
	営業投資有価証券評価損･投資損失引当金繰入額	562	579	245	194	145	28	1	△94.9%
	組合持分損失等	36	49	184	336	167	46	66	43.6%
	営業原価	3,069	1,182	1,395	1,780	1,123	163	182	11.7%
	営業総利益	1,827	993	1,125	1,090	1,081	△48	△9	-
3.	**その他**								
	営業収益	142	57	40	49	50	12	11	△13.7%
	営業原価	5	6	5	7	10	2	3	36.9%
	営業総利益	136	51	34	41	40	10	8	△24.5%
合計									
	連結営業収益	5,403	2,475	2,760	3,089	2,409	168	219	30.2%
	連結営業原価	3,074	1,188	1,401	1,788	1,133	165	185	12.0%
	連結営業総利益	2,328	1,286	1,359	1,301	1,276	3	34	929.7%

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

投資領域

JAIC



プライベートエクイティ投資

成長性の高いベンチャー企業やスモールキャップ企業、事業承継問題を抱える中小・中堅企業に対し成長資金を投資します。
投資後は、当社が日本とアジアに有するリソースを活用して、企業の成長戦略を支援します。

戦略投資

当社の注力する事業テーマに関連する企業に、戦略的な投資を行います。
投資後は、当社が事業上のパートナーとなり、事業での協業を通じて、資金支援や営業支援を行います。

プロジェクト投資

メガソーラーを始めとする再生可能エネルギーや、介護施設などのヘルスケア、植物工場などのスマートアグリ、物流施設のディストリビューションセンタープロジェクトに投資をしています。
プロジェクトファイナンスによる融資資金を活用して投資の採算性を追求します。

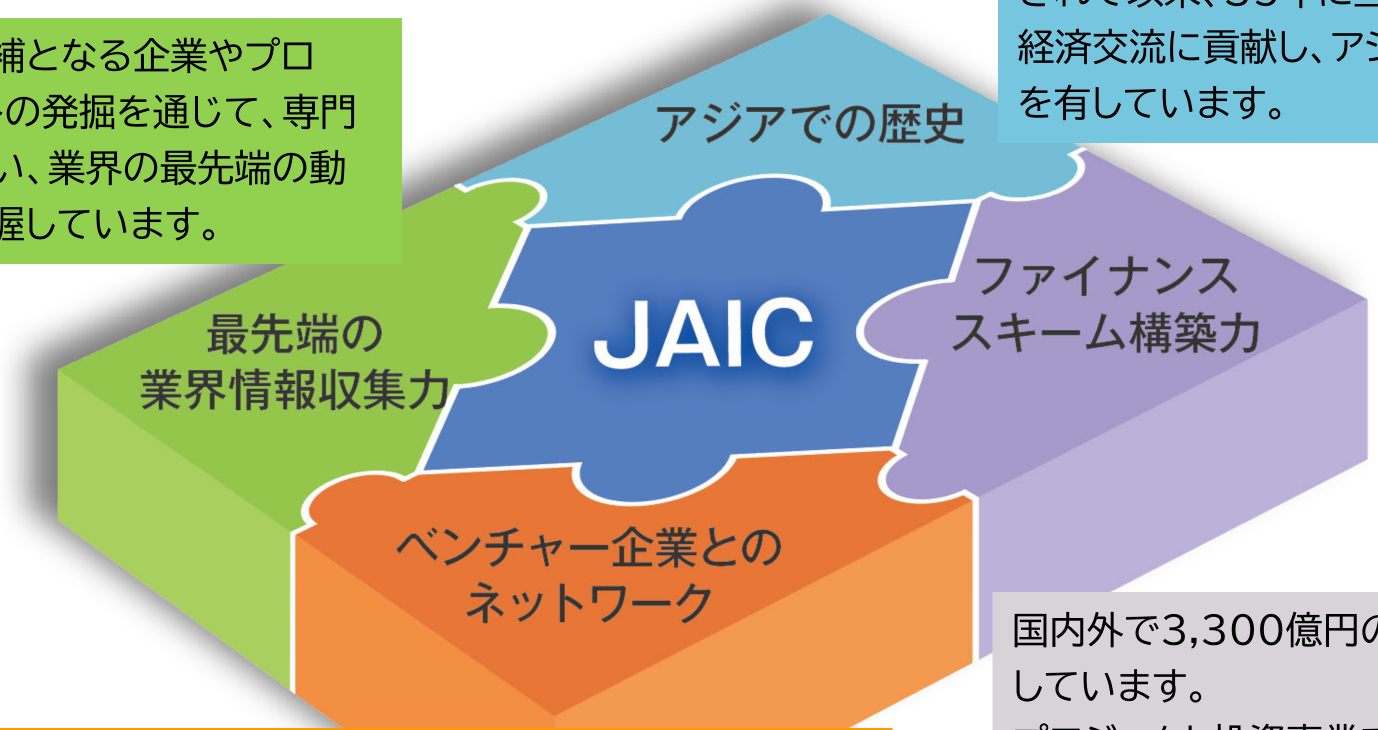
© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

JAICの強み

JAIC

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。



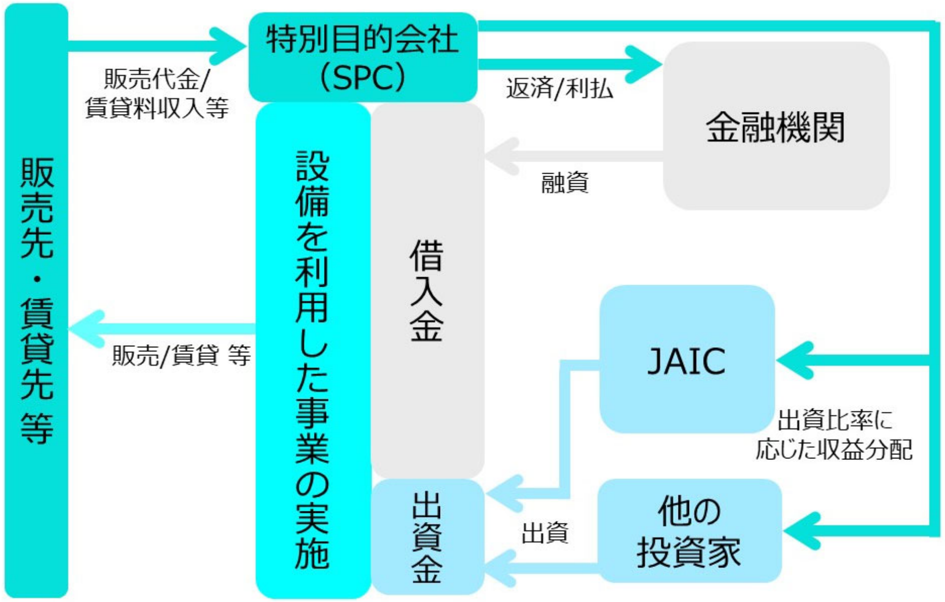
国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。
プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。
そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

収益構造-プロジェクト投資

JAIC

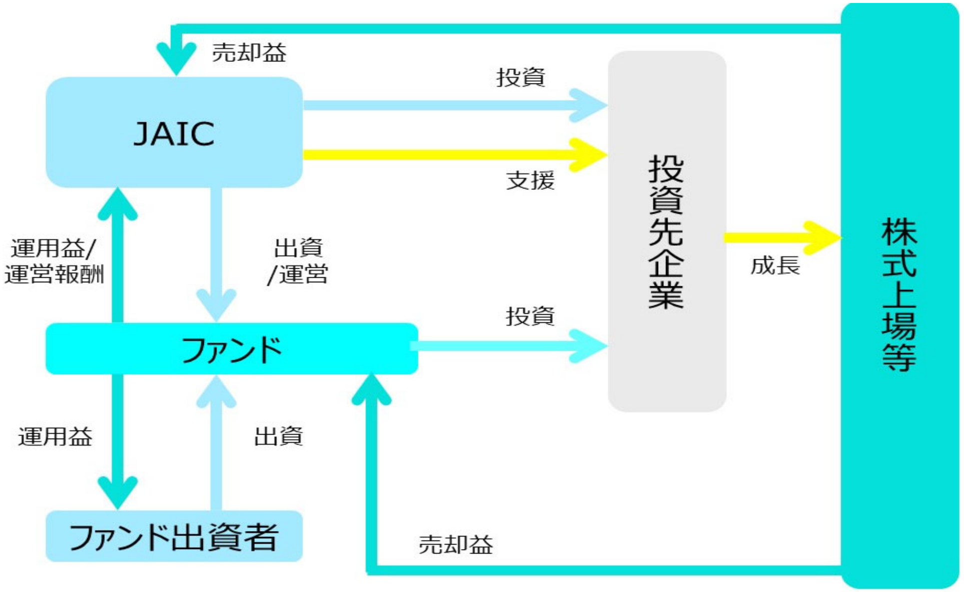


- ✓ 発電所、工場、住居施設、倉庫といった設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、これらの設備を建設し、完成後の設備の運営により生み出される利益から投資に対する分配を受領
完成後に設備を売却して利益を得る場合もある
- ✓ 再生可能エネルギー、ヘルスケア（高齢者向け施設、障がい者グループホーム）、スマートアグリ（植物工場）、ディストリビューションセンター（物流施設）等のプロジェクトへ投資
- ✓ プロジェクトの建設・運営にかかる資金の多くを金融機関からの負債性資金で調達することで、少額の投資資金で高い採算性を追及
- ✓ 多様な分野のプロジェクトに機動的に投資を行うために、プロジェクトの企画や開発に精通したベンチャー企業とパートナーシップを組んで取り組む

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

収益構造 - プライベートエクイティ投資

JAIC



- ✓ 日本を含むアジア地域におけるベンチャー企業や中堅・中小企業等を中心とした有望企業へ投資し、育成・支援を通じて投資先企業の企業価値を高め、株式の売却益を得ることを目的とした投資
  投資活動の過程で得る企業のニーズを基にM&Aの仲介業務も行う
- ✓ プロジェクト投資のパートナー企業に対する「戦略投資」と、それ以外の「フィナンシャル投資」の2種類
- ✓ 戦略投資を行った企業には、株主としての支援だけではなく、パートナーとして共にプロジェクトを運営し、その成長を支援
- ✓ フィナンシャル投資の特徴は、長年の経験により蓄積された上場支援に加え、広いネットワークを活用した海外展開支援や営業支援を行う
  そのために、中国の政府系機関やアジア諸国のパートナー企業と業務提携などを行い、アジアのネットワークを構築

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

SDGsへの取り組み

JAIC

SDGs投資会社である事を当社のコアバリューとし、経営理念に基づきSDGsを強く意識した投資活動を徹底する

Environment

再生可能エネルギー

プロジェクトのパートナー企業に投資をするとともに、プロジェクトへの投資を通じて環境負荷の軽減に貢献します。

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに / 12 つくる責任 つかう責任

Social

スマートアグリ（植物工場）

プロジェクトへの投資を通じて、農業人口の減少や高齢化による諸問題や気候変動、食の安全に対するソリューションを提供します。

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

ﾃﾞｨｽﾄﾘﾋﾞｭｰｼｮﾝｾﾝﾀｰ（物流施設）

プロジェクトへの投資を通じて、生産性の高い社会の実現や地域産業の活性化と雇用の創出に貢献します。

8 働きがいも経済成長も / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

高齢者施設 / **障がい者ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ**

プロジェクトへの投資を通じて、包摂的かつ安全でより住みやすい社会の実現に向けたソリューションを提供します。

11 住み続けられるまちづくりを

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｴｸｲﾃｨ投資

投資先企業が行うイノベーションや既存事業の再活性化により、生産性向上や労働力の補完を促進します。また、中小企業の事業承継を支援するファンドの運営により、包摂的かつ持続可能な産業化を促進します。

8 働きがいも経済成長も / 9 産業と技術革新の基盤をつくろう

Governance

経営体制

取締役7名中4名が独立社外取締役／独立社外取締役を取締役会議長として起用／任意設定機関「評価委員」により業務執行取締役の人事・報酬の評価を実施／取締役会の実効性の自己評価の実施と結果の開示／実効性のある監査等委員会監査や内部監査の実施

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

会社概要（2022年6月末現在）

JAIC

会社名	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号
設立年月日	1981年7月10日
資本金	5,426百万円
株式上場市場	東京証券取引所　スタンダード市場（証券コード：8518）
従業員数	単体21名／連結40名
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資
役員	取締役会長（独立社外）川俣　喜昭　：　取締役会議長
	代表取締役社長　下村　哲朗
	取締役（常務執行役員）八田　正史
	取締役　大森　和徳　：　監査等委員長
	取締役（独立社外）　安川　均　：　監査等委員
	取締役（独立社外）　沼波　正　：　監査等委員
	取締役（独立社外）　片桐　春美　：　監査等委員

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

本資料のご留意点

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。

- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。

- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。

- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022

JAIC
日本アジア投資株式会社

https://jaic-vc.co.jp

お問合せ先：管理グループ　岸本・丸山

ir@jaic-vc.co.jp

© Japan Asia Investment Co., Ltd. 2022